

けやき倶楽部 第4回講演会(幹事会、環境G共催) 報告書

[日 時] 2017年11月10日(金) 13:30~15:30

[場 所] 千葉大学人文社会科学系研究棟2階 マルチメディア会議室

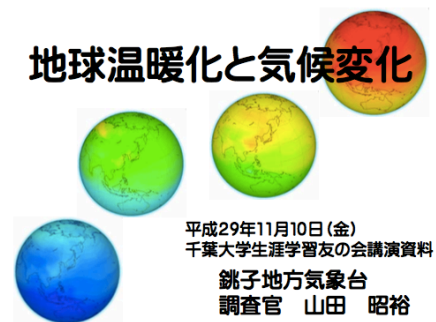
[参加数] 68名 (けやき倶楽部会員 66名、千葉大学教授1名、学生1名)

[テーマ] 地球温暖化と気象変化

[講 師] 銚子地方気象台 調査官 山田 昭裕様

講演目次

- ・温室効果と地球温暖化
- ・地球温暖化の影響
- ・気候変化の予測
- ・世界の天候・異常気象
～2016年の気候～
- ・ヒートアイランド現象
- ・エルニーニョ/ラニーニャ現象
- ・地球温暖化を緩やかにするための取り組み



講演要旨：

本講演会は、銚子気象台の出前講義として実施された。近年盛んに言われている地球温暖化、その原因は温室効果ガスであることは紛れもなく、その中でも二酸化炭素が6割以上を占める。温暖化の影響は、集中豪雨の増加、海面水温の上昇、桜開花日の前倒し等を初め、様々な異常気象(寒春、暖春、冷夏、猛暑、熱波、寒波、豪雪、日照り等)が起きており、季節現象の時期がずれることにも現れている。異常気象の原因とされるエルニーニョ/ラニーニャ現象はその仕組みは分かっているが原因は解明されていない。これらの状況が続けば、千葉県の実夏日が30日程度であったものが、21世紀末には70日程度に増加すると予想されている。この温暖化を緩やかにするため、1997年「京都議定書」(COP3)、2015年「パリ協定」(COP21)等、国際的な取り組みが行われている。身近なことでは、節電、省エネが二酸化炭素発生を緩やかにすることに繋がる。講演終了後も、活発な質疑応答が交わされ、大変有意義な講演会でした。

以上 (文責 環境G・稲生 茂)